

RSS

RSSは、主として情報の配信元であるWebサイト（企業等のプレスリリースやニュース、ブログ、SNS等）の見出しや要約、更新情報等のメタデータを配信するのに用いられるフォーマットであり、現在、インターネットで広く普及している。メタデータとは「データに対するデータ」であり、本文では詳細情報に対する概要情報を表すデータの意で用いている。このフォーマットの内容は、メタデータを構造化して、XML（Extensible Markup Language）で記述する形式となっており、配信側でのデータ生成の容易性と、受信側での可読性の高さの特長を持つ。情報の配信元がRSSファイルを他者が取得できる（配信できる）状態にしておくことをRSSフィードと言う。

なお、RSSの語源は様々あるが、「空間情報連携仕様Ver1.01」の基本構造が準拠するRSS2.0では、「Really Simple Syndication」の略称となっている。

国総研 情報基盤研究室 上田 英滋

SMTP

SMTP(Simple Mail Transfer Protocol)は、インターネットやイントラネットの主にTCP/IPネットワークにおいて、電子メールを転送するプロトコル（通信手順の規定）である。また、サーバ間で通信を行う際、SMTPによる電子メールの転送では相手のIPアドレスとポート番号（互いの送受信アプリケーションの識別に用いる番号）を指定するとき、一般的に通称SMTPポート（通常はTCPポート番号25）を用いる。電子メールが広く普及し業務等でも利用されていることから、組織間や部門間等のネットワークを跨る通信においてSMTPポートに制限が掛けられている（通信不可に設定されている）ことが比較的になく、システム間の簡易なデータ交換等においてもしばしばSMTPが利用されている。

国総研 情報基盤研究室 上田 英滋

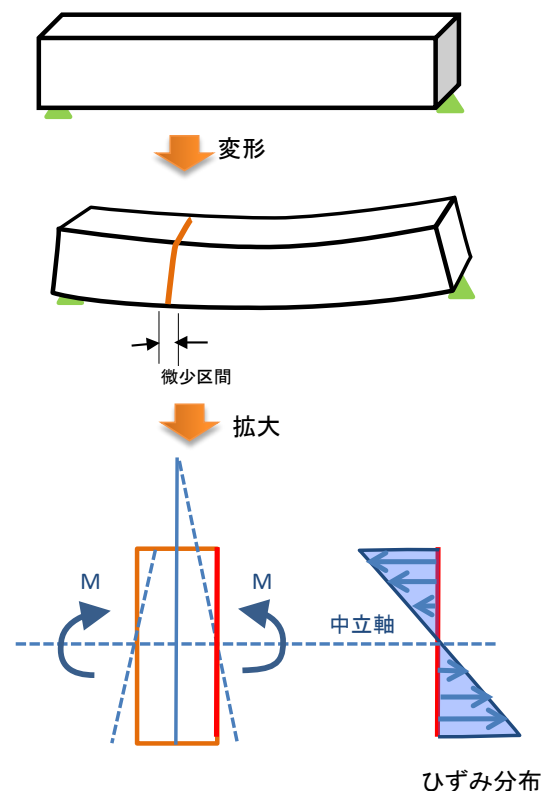
平面保持の仮定（Bernoulli-Navierの仮定）

平面保持の仮定（Bernoulli-Navierの仮定）とは、梁の断面は荷重を受けて変形した後も平面を保つという仮定。

断面に生じる応力分布が中立軸からの距離に比例し直線的に分布することから、簡易に断面の応力状態を計算することができる。

構造力学の曲げの部材の応力解析法として、橋梁の主桁などに多く用いられる。断面の寸法に比べて部材長が大きく、曲げの影響が支配的であり、変形が微少な場合に用いる仮定である。

せん断や捩りの影響を受けるような部材、変形が大きい場合などには適用されない。



国総研 道路構造物管理研究室 石尾 真理